

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について  
固定資産の減価償却法は、定率法を採用している。
- (2) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金・預金、未収金、仮払金  
未払金、前受金、預り金、及び未払法人税等・未払消費税等を含めている。  
なお、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。
- (3) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

### 2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	21,525,081	21,342,422
未収金	631,850	659,984
仮払金	7,711	0
合 計	22,164,642	22,002,406
未払金	15,832,724	15,143,042
前受金	35,000	10,000
預り金	84,796	102,663
未払法人税等	80,000	130,000
未払消費税等	355,300	616,900
合 計	16,387,820	16,002,605
次期繰越収支差額	5,776,822	5,999,801

### 3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,300,000	907,661	392,339
什器備品	600,222	556,475	43,747
合 計	1,900,222	1,464,136	436,086